

高等部経営方針

ア 重点目標

- (ア) 日常生活や社会生活に必要な基礎学力を高め、主体的な態度と社会生活における実践力を養う。
- (イ) 家庭や地域と連携してインターンシップを実施し、自己の適性や進路について主体的に考え表現する力を育てる。
- (ウ) 地域の特色や地域資源を活かした学習活動を行い、様々な人との交流をとおして、豊かな人間関係を育む。

イ 具体的な取り組み

- (ア) 単元や授業で学ぶことに見通しをもち、具体的、実践的な学習を行う。また、一人一人の特性に応じた支援方法の工夫をする。
- (イ) 一人一人の目標や課題に応じた進路学習をすすめ、自己理解、自己肯定感を高める。個別面談等をとおして本人、保護者、担任、進路指導主事の連携を図る。
- (ウ) 作業学習では地域とつながる製品づくりをし、社会人講師の活用をする。学校間交流や学校周辺地域の企業の方々との交流をとおして、地域の方々や同世代の友達とのかかわりを深める。

ウ 特色ある授業の実施

- (ア) インターンシップ（現場実習）
 - 1年生は「知る」、2年生は「挑む」、3年生は「選ぶ」をテーマにし、3年間を見通した職業科の学習を行う。進路選択の幅を広げ、卒業後の進路先を決定するために家庭や地域と連携したインターンシップを実施する。
- (イ) 作業学習
 - サービス班、クラフト班、ソーイング班、ファーム班の4班で構成し、生徒の興味関心や地域の特色を活かした活動に取り組む。また、社会人講師を活用し、専門的な知識や技能の習得につなげる。
- (ウ) 交流学习
 - OTAぶどうプロジェクトの体験学習や近隣の高校との交流、地域の行事等への参加をし、同世代の友達や地域の人々とかかわり、地域に貢献できる活動を行う。